

『池』（11月6日配信）

こんにちは。戸田です。よろしく。
今日は池のお話です。

今、ろう学校で仕事をしていますが、学校の幼稚部の庭に池があります。ずいぶん前に私が手作りした池で、メダカやオタマジャクシ、トンボの幼虫のヤゴなど、いろんな生き物がいます。5、6年前から大切にしている池です。

ですが今年の夏は猛暑でしたよね。池の水が心配で、いつも水を足して枯れないようにしていました。干上がってしまうとメダカなどの生き物が死んでしまいます。そうならないように水を何度も足して水位を調節していました。

9月の3連休のとんでもなく暑かった時、私も含め先生たちも学校には行かないので水足しはありません。連休が明けて学校に行くと、池の水が干上がっていました。暑さで水がなくなっていました。池にはメダカがたくさんいます。そのメダカも日に当たって白くなって死んでしまっていました。他の生き物もダメでした。どうしたものかと考えましたが、とにかく池を元通りにしてみようと思い、水を入れて元の状態にしましたが、メダカはぷかぷか浮いてしまっていました。もうこの池の生き物は全滅かと諦めましたが、とにかく池は水を入れて元通りにし、様子を見ることにしました。

次の次の日、池の様子を見ると、タニシが動いているのを見つけました。タニシは死んでいなかったんです。触角を出しながら動いています。ほかにも、トンボの幼虫のヤゴが活着しているのも見つけました。死んでなかったと思い、ホッとしました。池を元通りにしてみても良かったです。ですがメダカはやっぱりどこにもいません。残念ながら生き残った魚はいませんでした。

それから1週間後に池を見てみました。するとちーっちゃん魚、メダカの赤ちゃんが何匹も泳いでいたんです！びっくりしました。なんでいるのかと思いました。メダカは全滅してしまったのに、ちっちゃんメダカの赤ちゃんがいるんです。おそらくですが、日照りで池が干上がってしまったら池のどこかにメダカの卵があったんだと思います。池を元通りにしたことで卵がかえったんじゃないかと思います。本当にびっくりしたし、すごいと思いました。生き物の生命力は素晴らしいです！